

東京都への廃置の搬出始まる

宮城県・東京都間における事前協議が整い、6月21日から、当石巻ブロックの二次仮置き場から東京都内への廃置の搬出が開始されました。多数の報道陣に取り囲まれながら、コンテナへの積み込み、遮蔽線量率の測定、トラックスケールによる重量計測等が行われ、無事、初日の搬出が完了しました。

廃置は4t(4.7t)の専用コンテナに積み込まれ、100tトラックにて搬出、仙台貨物ターミナル駅にて再びトラックに積み替えられて都内の処分場にて中間処理された後に、焼却処分されます。

量は発酵しやすく火災発生の危険性が高いため、定期的な攪拌作業等、管理が難しい廃棄物の一つでしたが、量の搬出が開始されたことで廃棄物の処理がまた一歩前進することとなります。今後しばらくは15t/日のペースで搬出し、9月までに合計7,250tの廃置の運搬・処分を行う予定です。



専用の作業台から量を積み込みます



遮蔽放射線量率を測定するための「縮分法」によるサンプル採取



多数の報道陣に見送られて、搬出開始

J2焼却炉完成・稼働開始

6月20日、全5基の焼却炉のうち2基目となる「J2焼却炉(JFEエンジニアリング製ロータリーキルン2号炉)」が完成し、JV職員・関係協力会社による安全祈願の後、可燃物の焼却を開始しました。これにより、当施設の焼却能力は600t/日(300t×2基)となりました。残る3基(ストーカー炉)についても7月中に完成する予定となっています。



完成したJ2焼却炉に向かって安全祈願



ホイールローダーで可燃物の投入開始

「仮囲」に復興への思いを アートdeメッセージ完成

昨年度から準備を進めてきた、当事業用地(Aヤード)を取り囲む壁面(仮囲)に復興に向けた熱い思いや願いを表現した絵を掲示する「アートdeメッセージプロジェクト」が6月末に完成しました。

7月2日には、協力いただいた石巻市教育委員会、地元の小中学生、高校生(計9校)を招待して、アートのお披露目と感謝状贈呈式、現場見学を行う予定です。



「復興」をテーマにした地元青少年による力作の数々(イメージ図)

みのもんだ氏 来現

「朝ズバ!」取材にて

6月10日、TBS「朝ズバ!」の取材が当施設内で行われ、司会・タレントのみのもんだ氏が訪れました。

みの氏は精力的に施設内を歩き回った後、「こんなに細かく完璧に分別しているとは知らなかった。全国の皆さんに克明に伝えさせていただきます。」とのコメントを残して颯爽と去っていかれました。

(取材の様子は6月11日の「朝ズバ!」にて宮城県以外で放映されました。)



みの氏が使用したサイン入り保安帽(JV事務所の来客用玄関に飾っています)

「ゴーヤ日記」VOL.2

5月から植え始めたゴーヤですが、強風でネットが飛ばされたりと、害虫の被害に遭ったりと前途多難で、まだまだ「緑のカーテン」には程遠く寂しい状態ですが、7月に入れば一気に成長し、8月には夏の暑い日差しを防いでくれるのではないかと期待しています。



「緑のカーテン」には程遠く・・・

はたらく機械シリーズ⑤ ホイールローダー



土砂などを積み込む際に使用される重機です。一度に大量の物を積み込むことができ、るので多くの土木現場、除雪作業等で使用されています。当現場でも廃棄物などの積み込み作業で活躍しています。

7月の予定

- 7/2 安全大会
- 7/2 アートdeメッセージ 感謝状贈呈式
- 7/2 宿舍避難訓練
- 7/3 日建連広報誌Dews取材
- 7/9 鹿島東北支店安全パトロール
- 7/13 横浜建災防現場見学
- 7/14 思い出の写真
「デジタル公開センター」開所式
- 7/20 鹿島事業協同組合現場見学
- 7/20 鹿島建設社員組合現場見学
- 7/26 暴排・災害防止協議会
- 7/30 東北経済連合会現場見学

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

JV職員紹介



工事係 室井 佑介

①千葉県
②トンネルRC構造物
③冬はスノボ、春夏秋はこの現場に来て始めたゴルフです(まだまだ下手ですが・・・)
④石巻ブロックの復興に少しでも貢献できるよう頑張ります!



次長 野呂 好幸

①愛知県弥富市
②会社人生の大半を本社土木設計本部に所属し、計画・交通分野の業務に携わってきました。
③趣味は見知らぬ街を隈なく歩くこと、特技は簡単に太れることです。
④今回開発した運行管理システムや出来高管理システムが、大量の瓦礫を少しでもスムーズに処理することに一役を果たし、一日でも早い石巻地区の復興に貢献したいです。

